

2021.02.07. 聖書預言・アップデート/大虐殺10段階

では、おはようございます。毎週の「聖書預言・アップデート」へようこそ。皆さん、今朝ご参加いただきうれしいです。今日は、「大虐殺10段階」として知られる預言的な重要性についてを話します。イエーイ！ 理由はこうです。これらの「大虐殺10段階」は、現在世界で何が起きているのかを不気味なほど正確に描写しています。先週主を求めてから、主が、今日のアップデート全体を、いくつかの理由でこの主題に専念させられたいのを感じました。第一に、黙示録に記されている最後の地球規模の大虐殺の最終段階は、間もなくここで見ることとなりますが、今展開しているだけでなくその究極の成就に向けて、非常に速く進んでいます。第二の理由は、特にここアメリカで、大衆が選挙不正（欺瞞）と見なすものに未だ覆われ、巻き込まれ、気を取られていて、本当の欺瞞を見ることができないほどです。それが第四の理由と結びついています。多くの人が見せかけの平常心に戻ろうとする偽の希望と関係します。たとえそれがニューノーマル（新しい通常）と言われるものであっても。ぶっきらぼうに話すのをお許しいただきたいのですが、しかしそのように考えるのは、ユダヤ人が新しい通常の状態になるのを望む状況下で、虐殺に導かれているのに似てるかもしれません。第五の理由は、主がこのアップデートを用いて、イエスを人々に、人々をイエスのもとに、一刻も早く、手遅れになる前に、連れて行ってくださると信じるからです。イエスが、私たちの唯一の希望です。彼が、私たちの唯一の希望です。私達には時間がありません、その明快な召しとは、人々が見る目を持ち、聞く耳を持ちキリストにおける永遠のいのちの賜物を受け取る心を"今日"、持つことです。今日が救いの日です。タイタニック号に例えてみます。それは沈んでいっています。私たちはもうデッキの家具を並べ替えるのはやめるのが良いと思います。そんな時間はありません。それには意味がありません。もう時間の問題です。今すでに起きていることは、携挙がもういつでも起こりうることの指標です。実は、今日の私たちの「聖書の学び」の題名は、「もう着いた？」です。ハワイの時間の11時15分にライブ配信します。主がまたしてもそうなさる通り、まさにこのことについてです。こんにちの多くのクリスチャンが持つ、教会携挙がどれほど近いかという感覚についてお話します。これは、子供のような期待感で、言わば、後部座席にいる子供のように「もう着いた？」という感じです。「もう着いた？」「まだだよ。もうすぐだよ。」それがどのようなものなのか、またクリスチャンとしての私たちが焦がれ、見つめ、待つのが何なのかを具体的に話し、そしてもっと重要なのは、携挙への出発の準備することをお話ししたいと思います。さて今日のアップデートに入る前に、私たちのオンライン教会に、新ウェブサイト jdfarag.org 上のライブ配信と、先週起こった技術的な問題に対処する必要があります。多くの方が私たちに不満、また立腹されたのは知っていますが、どうかお願いしたいのですが、どうか、どうか、どうか、祈ってくださいますように。敵が、これらのアップデートが表に出るのを望んでないのをどうかご理解ください。霊的な戦いの激しさが並外れています。皆さん、それを信じられないでしょう。もしかすると信じれるかもしれません。私達には素晴らしいチームがいて、私は彼らに、非常に感謝しています。全ての機能が利用可能で、アクセスしやすいサイトにするために、彼らは、たゆまぬ努力を続けています。字幕を提供するための取り組みについて、特にお祈りをお願いします。聴覚障害者が多くいらっしゃるのを存じています。また、ビデオのダウンロードと共有、テレビ放送もです。ホームチャーチ、ホームグループ、ホームフェロシップをされてる方が多くおられ、それに向けて取り組んでいます。そのために皆さんのお祈りを切望します。また、アーカイブの動画：「預言アップ」や「聖書の学び」、文字起こし（文書版）も含め、すべてをこのサイトに含めようとし

ています。ですから、私たちは皆さんに、その点で祈ってくださることをお願いします。この動画は、「預言アップ」のイントロダクションと解説のみをYouTubeとFacebookでライブ配信し続けるものですが、YouTubeとFacebookで「預言アップ」のライブ配信を開始し、一旦終了します。そして登録者、特に新規登録者の多くの方がjdfarag.orgでこの配信の続きをご覧になるのを願っています。実際には、完全かつ中断のない、検閲不可の「預言アップ」を、最初からJDFarag.orgでご覧になるのをお勧めします。主の御心なら、私たちはできるだけ多くの人にたどり着けるよう、YouTubeやその他のソーシャルメディアプラットフォームに出来るだけ留まるつもりです。不吉な前兆があるので、いわば、それは時間の問題です。今、「預言アップ」が検閲されていますが、まもなく主の来臨が遅れるなら、そうならないを願いますが、「聖書の学び」でさえ、ある時点で同様に検閲されるでしょう。ではさて、宜しければいつも通り、神の御言葉で始めて行きます。理解するための基礎として、堅固な土台を確立するためです。そしていつも通りに、私が言っていることが正しいかどうか、ご自分で聖句を調べて吟味することをお勧めします。「使徒の働き17章11節」、「この町のユダヤ人は、テサロニケにいる者たちよりも素直で、(理由は)非常に熱心にみことばを受け入れ、はたして(パウロが語る事が)そのとおりにかどうか、“毎日”聖書を調べた。」それが、私が皆さんにしていきたいと思いますことです。

ヨハネの黙示録6章4節から始めましょう。

「すると別の、火のように赤い馬が出て来た。それに乗っている者は、地から平和を奪い取ることが許された。人々が互いに殺しあうようになるためである。また、彼に大きな剣が与えられた。」5節と6節、「子羊が第三の封印を解いたとき、私は、第三の生き物が『来なさい』と言うのを聞いた。私は見た。すると見よ、黒い馬がいた。これに乗っている者は秤を手に持っていた。」

「私は、一つの声のようなものが、四つの生き物の真ん中でこう言うのを聞いた。『小麦一拵が一デナリ。大麦三拵が一デナリ。オリーブ油とぶどう酒に害を与えてはいけない。』」

7節と8節、「子羊が第四の封印を解いたとき、私は、第四の生き物の声が『来なさい』と言うのを聞いた。」

「私は見た。すると見よ、青ざめた馬がいた。これに乗っている者の名は『死』でよみがそれに従っていた。彼らに、地上の四分の一を支配して、剣と飢饉と死病と地の獣によって殺す権威が与えられた。」

黙示録8章8～11節

「第二の御使いがラッパを吹いた。すると、火の燃えている大きな山のようなものが、海に投げ込まれた。そして海の三分の一が血になった。」「また、海の中にいる被造物で、いのちのあるものの三分の一が死に、船の三分の一が壊された。」

「第三の御使いがラッパを吹いた。すると、天から、たいまつのように燃えている大きな星が落ちて来て、川の三分の一とその水源の上に落ちた。」

「この星の名は『苦よもぎ』と呼ばれ、水の三分の一は苦よもぎのようになった。水が苦くなったので、その水のために多くの人が死んだ。」

黙示録9章15節

「すると、その時、その日、その月、その年のために用意されていた、四人の御使いが解き放たれた。人間の三分の一を殺すためであった。」

黙示録9章18節

「これらの三つの災害、すなわち、彼らの口から出る火と煙と硫黄によって、人間の三分の一が殺され

た。」

黙示録 20 章 4 節

「また私は多くの座を見た。それらの上に座っている者たちがいて、彼らにはさばきを行う権威が与えられた。また私は、イエスの証しと神のことばのゆえに首をはねられた人々のたましいを見た。彼らは獣もその像も拝まず、額にも手にも獣の刻印を受けていなかった。彼らは生き返って、キリストとともに千年の間、王として治めた。」

それがミレニウム・千年王国、王国時代です。

黙示録 7 章 9 節

「その後、私は見た。すると見よ。すべての国民、部族、民族、言語から、だれも数えきれないほどの大勢の群衆が御座の前と子羊の前に立ち、白い衣を身にまとい、手になつめ椰子の枝を持っていた。」

彼らは誰でしょうか？ 聞いてくださり嬉しいです。13 節と 14 節に、答えがあります。

「すると、長老の一人が私に話しかけて、『この白い衣を身にまとった人たちはだれですか。どこから来たのですか』と言った。」

「そこで私が『私の主よ、あなたこそご存知です』と言うと、長老は私に言った。『この人たちは大きな患難を経てきた者たちで、その衣を洗い、子羊の血で白くしたのです。』

最後の 1 つ、マタイの福音書 24 章 21～22 節、イエスが話しておられます。

「そのときには、世の始まりから今に至るまでなかったような、また今後も決してないような、大きな苦難があるからです。」

「もしその日数が少なくされないなら、一人も救われないでしょう。しかし、選ばれた者たちのために、その日数は少なくされます。」

私がこれらの特定の聖句から始めたいと思った理由は、これが全て世界的な大量虐殺をまとめて記してあるからです。黙示録 6 章 4 節には、殺し合う人数は記されていませんが、大きな剣というのが、多数であることを示しているように思えます。そして、第三の封印が 5 節と 6 節で解かれると、パンを作る材料を買うだけで、丸一日分の給料が必要となり、大飢饉で、さらに死者が出るのが予想されます。これはハイパーインフレーションと呼ばれます。これらの死に加えて、7 節と 8 節で第四の封印が解かれると、残りの世界人口の四分の一が、剣、飢饉、死病、疫病、そして地の獣によって殺されると語られています。議論の目的のために、こんにちの世界人口は、80 億人...「億」ですよ？ 四分の一は…再度、議論の目的のためですが、80 億の四分の一は、20 億ですよ？ 私は正しいですか？ どうしてそんな風に私を見ているのですか？ 私の数学は正しいですよ？ 20 億。それが四分の一です。もちろん、この第四の封印の解かれる時点で、残っている人口を前提としています。20 億人。20 億人昨日、the Foundation for Conscious Evolution(意識的進化財団)の共同創設者で社長だったアメリカのアメリカの未来派、作家バーバラ・マークスハバードからの引用に出くわしました。「ハバードの理論では、人類は飛躍の入り口にいる。ところで、これはニューエイジのグレートリセット(偉大なる再設定)です。新たに出現した科学的、社会的、精神的な能力を統合し、世界の危機に対処することができるならば。」ここに彼女が述べた内容があり、引用します「人類の四分の一は、社会の中から排除されなければならない。私たちは、地球という惑星の、神の選択過程を担っている。彼は選択し、私たちは破壊する。私たちは、青ざめた馬、"死"の騎手なのだ。」ほーうわー、言葉ありません。私にとって、言葉が出ない、話せない、というのは奇跡です。笑っていないと泣き出しそうです。人口の四分の一が全滅することに加え、黙示録 8 章 8-

11 節が語るのは、繰り返しますが、私たちには何人の人々なのか分かりませんが、多くの人が、壊された船や毒水(苦よもぎ)で死ぬのです。その後、黙示録9章15-18節に行くと、その時点で世界の人口として残っている内の、三分の一が追加で殺されると記されています。映画監督であり探検家であり、海洋学者でもあるジャック＝イヴ・クストーは、こう述べています。再度引用します。

「地球を救うためには、1日に35万人を殺す必要があるだろう。私たちの社会は、ますます必要のない消費に向かっている。癌に例えると悪循環だ。私たちは、苦しみ、病気をなくすべきなのか？ アイデアは美しいが、恐らく長期的にはメリットがない。私たちの未来の種を危うくする“疾病”の恐怖を許してはならない。」ご自分に話してみてください。私は神の似姿で創造されました。「世界人口を安定させるためには、一引用中— 1日35万人を排除する必要がある。恐ろしいことを言うようだが、言わないのも同じくらい悪い。国連の目標は、選択的に人口削減することで(これお聞きください)中絶、強制不妊手術と、人間の生殖をコントロールすることを推奨する。人口の三分の二(興味深いです)を過剰な荷物と見なしている。1日に35万人が排除される中で、人口増加は環境破壊の主な原因である。」点と点が繋がるのが興味深いですね。間違いなく皆さんの多くの方が、ジョージア州のガイドストーンをご存知ですね。これらは40年前の1980年に、ジョージア州エルバート郡に建立された御影石の記念碑です。この記念碑が興味深いのは、誰が書いたのかという点では匿名性が高く、人口管理、優生学、国際主義を明らかに唱えていることです。それが論争と陰謀論の対象となっています。ですよね？ これにはいくつかの理由があり、この写真は、そのうちの一つに刻まれた彫刻で、読んでみます。一引用—「自然との永続的なバランスの中で5億以下の人類を維持する。適合と多様性の改善をしながら、再生産を賢く導く。」黙示録7章9-14節を見れば、大勢の人たちが、世界人口の削減と維持するための悪魔の計画の一部であることが一目瞭然です。それが大患難であるのは驚くべきことではありません。イエスは仰っています。

「その日数が少なくされないなら、一人も(人間は)救われなんでしょう。」(マタイ 24:21-22)

7年の患難の前に、これらの黙示録の預言が今、動きだしているのを理解しておくことが大切です。そして、私が言及する理由は、これらの起こり始めたら、キーワード「始めたら」が、今起こり始めようとしているのを目にする事は、私たちの贖いが、今どれだけ近いかを示す証拠だからです。イエスが、「**ルカの福音書21章28節**」で仰ったことを聞いてください。「**これらのことが起こり”始めたら”、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。**」これらが起こり”始めたら”見上げて、頭を上げなさい。ここで問題になるのはどうやってこれが過ぎ去っていくことの始まりであると確信できるのか、ということです。実際には終わりの始まりであり、歴史を通して大虐殺が行われてきたことを考えると、そのうちの主なものはホロコースト(ナチスによるユダヤ人の大虐殺)でした。当時、アドルフ・ヒトラーが「一人の反キリスト」ではなく、実に「特定の反キリスト」であると信じていたことから、それが終わりだと考えていた人もいました。公平に考えれば、今日見ているものは、人類の歴史のページの中に消えていく、また別の時代の一つであると主張することができます。しかし私たちには問題があります。問題は、この考え方では「正常性バイアス」と知られているものに導かれてしまうことです。これは、過去に起こらなかったもので、これからも起こらないというものです。正常性バイアスを定義しましょう。それは、人々が災害に直面した時に、入る精神状態です。それは、災害発生の見込みと可能性の両方を過小評価する原因となり、人々が脅威への警告を信じないようにしたり最小限に抑えてしまいますしたがって、いくつかの推定される正常性バイアスは、(これは興味深いです)人口の約70%です。(私にとって、これは腑に落ちます。)それは、地震やそれに伴う津波や戦争、パンデミックと

いう自然災害のような壊滅的な出来事、さらには車両事故にさえ、十分に準備できない原因となります。正常性バイアスの場合の前提は、“災害は起きたことがないから絶対に起きない”ということです。また人々は、災害が発生すると、災害に対処することができなくなります。正常性バイアスがかっている人は、今まで経験のないことに反応するのが難しいのです。人々は、警告を最も楽観的な方法で解釈する傾向があり、曖昧さを利用し、あまり深刻ではない状況だと推論します。私が何をしようとしているのかももうお分かりでしょう。要点をお伝えします。はい、その時は、終わりが来なかったけれど、来るはずない、もう来ないという意味にはなりません。その理由は、ホロコーストがユダヤ人大量虐殺だったのに対し、聖書預言によると、来ようとしている。そして実際にすでに来ているかもしれないのは、世界的大虐殺です。ユダヤ人大虐殺だけではありません。さらに、イスラエルが国家として再建されたのはユダヤ人のホロコーストの後であり、聖書の中で、最も重要な成就した預言の一つであると言っても過言ではありません。

イザヤ書 66章 8節

「だれが、このようなことを聞き、だれが、これらのことを見たか。地は一日の苦しみに産み出されるだろうか。国は一瞬にして生まれるだろうか。ところがシオンは、産みの苦しみと同時に子たちを産む。」

エゼキエル(預言者)書 37章 1～3節

「主の御手が私の上にあった。私は主の霊によって連れ出され、平地の真ん中に置かれた。そこには骨が満ちていた。」

「主は私にその周囲をくまなく行き巡らせた。見よ、その平地には非常に多くの骨があった。しかも見よ、それらはすっかり干からびていた。」

「主は私に言われた。『人の子よ、これらの骨は生き返ることができるだろうか。』私は答えた。(因みにこれは良い答えです)『神、主よ、あなたがよくご存知です。』私は知りません。あなたがご存知です。そして 11節と 12節、

「主は私に言われた。『人の子よ、これらの骨はイスラエルの全家である。』見よ、彼らは言っている。『私たちの骨は干からび、望みは消え失せ、私たちは断ち切られた』と。」

「それゆえ、預言して彼らに言え。『神である主はこう言われる。見よ。わたしはあなたがたの墓を開き、あなたがたをその墓から引き上げて、イスラエルの地へ連れて行く。』

”さあ私を見ていなさい！”最後の部分は原文にはありませんが、これは成就したのです！ この預言は、1948年5月14日の1日で成就が始まりました。今、約73年後に早送りし、私はこのように言います。聖書歴史と聖書預言の間に、この美しい婚姻を見ます。私が何を意味するのか説明しましょう。イスラエルが国家として再建し、彼らが彼らの土地に戻り「始め(キーワード)ました。」預言時計の時刻は、刻々と過ぎていきます。イエスが仰った通り、「これらのことが起こり始めると、、、」そして彼は、強力な預言的例え話を教えられます。ルカの福音書 21章 28節を再度注目ください。「これらのことが起こり始めたら、身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの贖いが近づいているからです。」「それからイエスは(29節)、人々にたとえを話された。『いちじくの木や、すべての木を見なさい。』木の芽が出ると、それを見て、すでに夏が近いことが、おのずから分かります。」「同じように、これらのことが起こるのを見たら、あなたがたは神の国が近いことを知りなさい。」

「まことに、あなたがたに言います。すべてのことが起こるまで、この時代(これを見ている)が過ぎ去ることは決してありません。」

「天地は消え去ります。しかし、わたしのことばは決して消え去ることがありません。」

私はこう言うために、すべてを共有します。聖書預言が、私たちに起こると語ったことは、誰もが考えるよりも早く、すぐに起こるであろうことを指し示しながら、起こって来ました。前述の「大虐殺10段階」の預言的な意味に入ると、それらは、今起きていることと凍り付くほど類似点があります。この時点で、ライブ配信を一旦終了します。jdfarag.org でご覧でない方は、残りの検閲不可完全版を jdfarag.org でご覧ください。

本編

私にリンクや動画を送ってくださったオンラインメンバーから大虐殺の10段階のことを最初に知りました。そして、このことを調べてみると、1996年にジェノサイド・ウォッチの創設者であるグレゴリー・H・スタントンによって書かれたものだということがわかりました。当時、彼は米務省で「大虐殺8段階」と呼ばれるブリーフィングペーパー（説明文書）を発表していました。これが政府の作戦であったかどうかは不明ですが、歴史が証明しているように、報告された段階は非常に正確であり、預言さえも示唆しているように思えます。2012年、スタントン氏は雛形に2段階を追加し、「大虐殺10段階」の雛形になりました。さて、段階は直線的ではなく、通常同時に発生するというのを理解しておくことが重要です。非常に重要なので覚えておいてください。この10段階を経る前に、私は記録に残っていることを述べなければならないと思います。私が本当に信じているのは、COVID-19 ワクチンは、少なくとも一部で、世界的な大虐殺をもたらすであろうことです。宜しければ、何故私がそう言うか、そう信じるかを説明します。ここに、"2020年、COVID-19/コロナ大虐殺"と題するリンク、11ページのダウンロード可能なPDFファイルからの抜粋をご紹介します。「COVID-19/コロナは、(引用中です)長い間、優生学者のビル・ゲイツとロックフェラー財団から発せられた文書とシミュレーション演習の中で、事前計画されていました。200の詳細なレベルのプラットフォームは、専門技術者であり、第四次産業革命として知られるトランスヒューマニズムの推進者、クラウド・シュワブ氏が主宰の世界経済フォーラムによって提供されています。COVID-19/コロナパンデミックを利用して、世界的な通貨リセットとデジタル通貨、テクノクラシー（技術家政治）、全体主義的政府を世界的に実施するための詳細な指示を提供するため、社会主義と環境主義を装い、不吉なワクチン陰謀で人類を奴隷にします。それは人口削減と軍事兵器であり、監視、顔認証を可能にすることでテクノクラシーと全体主義的な支配の導入を容易にします。個人を24時間365日監視し、心と体を支配し、ワクチンやナノ粒子を含む"ケムトレイル"との組み合わせにより、個人を標的とした拷問・殺人です。違法な法律が、市民の自由を奪い、経済を破壊し、中小企業を廃業にするため、多くの国で実施されています。家族を分離・隔離・恐怖に陥れるため、雇用の破壊を含め、人々を困窮させるため、子供たちを家族から追い出すため、反対者を強制収容所で抑留するため、政府運営委員会に免除を与えるため、殺人、強姦、拷問をするため、警察、軍隊、傭兵を使って人口をコントロールするため、"インフォームド・コンセント（告知に基づく同意）なしで"人口制御機構を含む非医療用ワクチンを強制的に接種するために。画面は、ExposingVaccineGenocide.orgのスクリーンショットです。皆さんご覧になるのを勧めます。「About us/私たちについて」引用します。

「メディカルベリタスインターナショナル株式会社は、カリフォルニア州に拠点を置く非営利の教育団体で、ワクチン接種の大量虐殺に反対する世界の第一人者として Medical Veritas Foundation を推進しますこのホームページから引用します。編集長のレナード・ホロヴィッツ博士が「無限の殺人」という見

出して、次のように述べています。「公衆衛生の聖牛（神聖にして犯すべからざる者）であるワクチンは、大量過疎化のための大殺戮兵器である。」他にも、皆さんにぜひ見ていただきたいサイトがあります。私たちは、これらの全リンクを持っていて、vaccinesandchristianity.org です。画面は、"The Vaccine Genocide Chronicles/ワクチン大虐殺史"というタイトルの非常に有益なページです。"第4部：世界各地で中絶の原因となるワクチンの密かな使用"いつだったか忘れてましたが、今から数ヶ月前の話です。エンターテインメント界、映画、テレビ番組、子供の漫画までが洗脳と、予測プログラミングであるという「預言アップデート」に特化しました。その全共通点は、このウイルスであり、彼らはワクチンを解決策とします。全部事前にプログラムされているんです。私は、全て、これだけのことを知ってしまうと、映画を見ることができなくなってしまいました。たぶん、それは良いことかもしれませんが、わかりませんが、テレビもです。プロパガンダ(政治的意図を持つ「宣伝」)ばかりでニュースも見れません。すべてが事前準備、事前（予測）プログラミングです。全てがそうです。この情報で、今私たちは「大虐殺10段階」に取り組む準備ができていると思います。皆さん大丈夫ですか？ そうすることで、COVID-19/コロナ眼鏡をかけてそれを見る必要があります。なので、次のものは、9ページのダウンロード可能なPDFファイルです。繰り返しますが、私たちは、これらのリンクも提供しています。グレゴリー・H・スタントンによる"大虐殺10段階"です。最初に段階を挙げて、次にその特徴を挙げることで、これらを進めていきたいと思っています。その上で、預言的な意義と、今起きていることの点と点を結びつけたいと思っています。まさにに何が起きているのかという意味です。始める前に、もう一つ素早く言わせてください：正常性バイアスについて。私は謙虚に親身をお願いしたいのですが、もしあなたがこの正常性バイアスに陥りやすいのであれば、聖霊があなたを助け、私と共有しようとしていることを理解できるようにしてくださいますように。

第一段階：分類

これは、あなたが人々を「私たちと彼ら」に分割し、人種、宗教、そして間違いなく政治の分野でそうなさっていることです。今の世界は、かつてないほどに分断されているということに同意されると思います。黒人对白人、人種的、宗教的、特に政治的に。これは理由があつての第一段階です。なぜなら、それは他の人たちが飛び出す土台となるからです。

第二段階：象徴化

これらの分類には、ユダヤ人に黄色の星のように名前や象徴がつけられています。反抗のシンボルとしてのマスクかもしれません。今、マスクはコンプライアンス・遵守です。しかしワクチンがある今、あなたがマスクをするなら、それは反抗です。なぜなら、あなたは、「私はワクチンを受けるつもりはない。」と言っていることになるからです。ですから、あなたはまだマスクを着用して、それが象徴になります。今朝教会に来る途中、私は、バスの後ろで立ち往生してしまいました。わざとですよ。それは私を襲って、遅らせるために送られてきたサタンの使者だったと確信しています。進むのがすごーいゆーっくりでしたから。私は「主よ、マジですか？」なので、自分の聖性が私から逃げないようにと祈りました。こういうことが起こるといつもそうするのですが皆さんに共有してます。私は肉欲と運転に関して、皆さんには大変オープンです。それで…いや、バスの後ろにLEDディスプレイがあるのは知ってますよね？ "マスクなしではご乗車いただけません。"そして、今日の預言アップ見越して、思いつきました。彼らがそのSをRに変更しなければならぬ時まで、それほど長くはないかもしれません。MASK（マスク）→MARK（しるし・刻印）1文字違いです。"マーク（しるし・刻印）がなければ、ご乗車いただけませ

ん。"

第三段階：差別

分類され象徴されたものが、差別され自由を否定されます。私が信じているのは、ワクチンを拒否する人達は、差別され....既にされていて、そして、現在のコロナ規制からの自由を拒否されます。

第四段階：非人間化。

ここで人々の人間性が否定されます。ユダヤ人のホロコーストのように、彼らは害獣と同一視されます。理由はこうです。そして、それが今起こっていると私が信じる理由はこれです。大量虐殺の正当化に役立つ、この現在の非人間化というのは、犠牲者を実際に人間として見ていないことに相対します。それが起こっていること、非人間化です。

第五段階：組織化。

特殊陸軍の部隊や民兵は訓練され、武装され、組織化され、動員されます。何が悲しいかご存知ですか？これがまさに今、世界的に起こっていることだということに、人々は気づいていないのです。彼らは大衆を支配するために組織化します。

第六段階：分裂。

お許しただけなら、私はこれに少し時間を費やしたいと思います。偏見、憎悪、標的化、脅迫、個人または集団の黙殺を助長するようなプロパガンダ放送によって人々は分裂していきます。最後までお聞きください。私にとって、これは心が痛みます。この段階では、意図された目的に急速に到達しています。クリスチャンや教会でさえ、恥ずべきことに牧師でさえも、その分裂の中で憎しみをあらわにしています。私は先週、このことについて考えていました。たくさんの動画を送っていただくのですが、私の時間のある時に主が、私に見て調べさせるであろうものを優先するようにしています。しかし、皆さんに言わなければならないことがあります。いくつかは大変悲しくて、私は泣いてしまいました。つまり、悲しみと、嘆きと、寂しさで。牧師が説教壇から、または YouTube のビデオで、彼らが異なる見解を持っているという理由で、キリストにある別の兄弟に悪意を持って、誹謗中傷し始めるのです。ちなみにこれが理由なんです、これから言い続けるので、皆さんうんざりされないのを願います。今起きていることはサタンです。私たちの戦いは、血肉との戦いではありません。私たちの戦いは、人との戦いではありません。暗闇の支配者との戦いです。サタンがしてきたことと、悪霊の領域で大きな成功をしてきているのは、まさしく神の民である私たちを「彼らを_____として」と、分類させたことです。皆さんが空欄を埋めてください。「ああ、民主党の人たちだ。」いいえ、そうではありません。それが彼らの政治的な説得力なのかもしれませんが、それは彼らが誰であるかを意味することではありません。彼らが誰だかご存知ですか？ 彼らは、イエスの愛しておられる魂であり、イエスは、彼らのために死んでくださったのです。皆さん、聞かれる準備はいいですか？ イエスは、皆さんを愛しておられるのと同じくらい、彼らを愛しておられます。どうですか？ 恥を知りなさい。クリスチャンが、彼らを「悪魔のネズミ」と呼んでいます。うわー、彼らはあなたをだましたんですよ。敵にやられちゃいましたね。左派 対 右派。黒人 対 白人。止めなさい！！ そして、ここに牧師がいます。私が話しているのは、迷える人たちに手を差し伸べずに、救われた人たちと議論している牧師たちのことです。人々は死んで地獄に向かっています。イエスがすぐに来られるのに！！ まもなくラッパが鳴ろうとしているのに、あなたは救われた人と戦っているのですか！！ ほーら！サタンの思うツボ！ サタンはトコトンあなたを騙くらかしたんですよ。悔い改めなさい！悔い改めなさい！ そして、それについて考え違いしないでください。残念

ながら、世界が見ているのです。人々は、牧師がそれをやっているのを見えています。彼らは、クリスチャンがソーシャルメディアに投稿し、分裂の憎しみを露にしているのを見ます。本当にあなたにお聞きしたい。どうやって可能なかわからないから知りたいです。私はそれが不可能であることを知っています。それをやった後、どうやって、あなたは彼らにイエスを共有するつもりですか？ どうやって、彼らにイエスを近づけるのですか？ あなたがそれをして、投稿した後、どうやって彼らをイエスに導くのですか？ 恥を知りなさい！ あなたは分裂を起こしています。彼らは今、人間性を奪われ、分割され、レッテルを貼られ、分類されているのです。彼らはもはや、イエスが愛し、イエスがそのために死んで下さった、神の似姿で創造された人間ではありませんちなみに、あなたが好きか嫌いかは別としてイエスは、あなたよりも彼らが救われることを望んでおられます。実際、あなたはヨナのように、彼らが救われたら怒るでしょうね。ここで置いておきます。それ以上は、止めておきます。皆さん、要点は分かってましたね。それは憎しみです。憎しみと呼ばれています。これが、私が人々を見ると、地元の人なのか、haole ハオレ（主に米本土から来た白人）なのかで見ない理由です。救われていないか、救われているかで見ます。人間は外見を見ますが、神は心をご覧になられます。因みにそれがすべてを変えます。彼らに対して怒るのではなく、憎しみを持つのではなく、私は彼らに思いやりを持ちます。それがイエスの心です。ふ～

第七段階：準備

これは、計画と準備が本格化する段階です。あえて言えば、(引用)「最終的な解決策」のために。私が信じるこの COVID-19/コロナワクチンは、"最終的な解決策"のために準備されたものです。昨年4月23日、ビル・ゲイツは、スティーブ・コルバートとのレイトショーに出演し、ワクチンについてこう言いました。引用します。「そして最終的な解決策は、ワクチンです。だから我々は、全速力で行くしかないのです。」彼がこう言った後、スティーブ・コルバールが言いました。引用します。「陰謀論者を追い払うために、ワクチンを"最終的な解決策"ではなく、"最高の解決策"と呼ぶべきかもしれません。」ゲイツは、それを笑い飛ばして「良いところを突きますね。」と言った。ははははは.....ははははは強調してみました。それからゲイツは言い直しました。引用「"通常へ戻る"解決策」と

第八段階：迫害

この段階では、強制収容所への強制移住があります。当時のユダヤ人と同じように、大衆が強制収容所や代替医療施設に強制連行されるのも時間の問題です。ところで既に起きていることですが、公衆衛生上の安全のための「隔離」を装っています。

第九段階：駆除。

この段階で、非人間化した被害者の駆除が行われます。繰り返しになりますが、私が個人的に信じるのは、「獣のしるし」を拒否する者は、多数が殺され、駆逐されると思います黙示録 20 章 4 節で語られている、獣のしるしと獣を崇拜することを拒否し、斬首される人々です。これはギロチンを使って行われると思います。

第十段階：否認

この最終段階では、加害者は犯罪を犯したことを否定し、通常このように言います。"私は命令に従っただけだ"と。ホロコースト否定者のリストが増えているのは言うまでもありません。これがまさに、今の時代に起こっているのです。しかし、神は。ああ、多分もう少し早く「しかし、神は」にたどり着くべきだったでしょうね。しかし、神は、神だけが御出来になる方法で、悪と人間の怒りを、神への称賛に用い

ることが御出来になります。悪のために意図されたものを神だけが御出来になる方法で、それを善に働かせられます。

詩篇 76 章 10 節

「まことに 人の憤りまでもがあなたをたたえあなたは あふれ出た憤りを身に帯びられます。」

創世記 50 章 20 節、私のお気に入りです。他のすべてと共に気に入りで、ヨセフは、彼の兄弟にこういいます。「あなたがたは私に悪を謀りましたが、(しかし) 神はそれを、良いことのための計らいとしてくださいました。それは今日のように、多くの人が生かされるためだったのです。」

私の信念は、神が選ばれ、COVID-19 を使われ、間違いなく、多くの人々を救いへと導いてくださることを体験してきて、人間の怒りと邪悪な計画がなければ、人々はキリストのもとに来ることはなかったということです。悪魔は、神の悪魔です。そして神は、最終的に神への栄光と私たちの益にならない限り、悪魔に何もすることをお許しになりません。そして神は、神にしか御出来にならない方法で、この悪を使い、この悪を、善のために用いられるのです。神はこのステップに振り付けなさりながら、全ての状況を編成しておられます。そして最後には、神が栄光と賛美と崇拝を受け、人々が救われるのです。それが起こっているのです。それが起こっています。"神のラッパが鳴り響き、まずキリストにある死者がよみがえり、それから、生き残っている私たちが、彼らと一緒に雲に包まれて携挙され、空中で主と会う時"、天で待ち受けていることは、私たちには想像出来ないと思います。私たちの誰もが、神に救われた多くの人々のことを想像出来ないと思います。このことの故に。このことの故に。神だけが御出来になる方法で。ですから、これが私たちがアップデートを行う理由です。2006 年から、実際には 2008 年から YouTube でやってきているのはそのためです。またそれが、イエス・キリストの救いの良い知らせ・福音で締めくくる理由です。またそれが、「救いの ABC」という、子どもにでも分かる救いの簡単な説明で締めくくる理由です。福音とは何でしょうか？それはどういう意味でしょうか？「**コリント人への手紙 15 章**」最初の **4 節**で使徒パウロは福音とは何かを述べています。福音とは、イエスが来られ彼は十字架につけられ、私たちの身代わりに、私たちのために死なれ、葬られ、3 日目によみがえられたことです。使徒パウロが、テサロニケの教会に手紙を書くとき、福音とは、イエスが来られ、死なれ、葬られ、よみがえられ、そして彼はすぐにまもなく、再び戻ってくると述べています。それが良い知らせです。

「救いの ABC」とは何でしょうか？ ABC とは、救われる方法を誰かと共有する際の、簡単な説明であり、テンプレートであり、言わばツールなのです。

A：自分が神に背いた罪びとであることを、また自分には救い主が必要であると Admit/認める または、Acknowledge/認識する。**ローマ人への手紙 3 章 10 節**にはこう書かれています。

「正しい者はいない。一人もいない。」

ローマ人への手紙 3 章 23 節がその理由を教えています。

「人は皆、罪を犯して神の栄光を受けられなくなっている。」

ローマ人への手紙 6 章 23 節は、罪には罰則がある、死刑宣告だと語ります。

「**罪の報酬は死です。**」(ローマ 6:23a)

しかし、ここに良い知らせがあります。

「**しかし、神の賜物は私たちの主キリスト・イエスによる永遠の命です。**」(ローマ 6:23b)

それが A、次が B、非常に簡単です。B：あなたの心で、イエス・キリストが主であると神がイエスを死からよみがえらせたことを、Believe/信じる。ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9)

そして最後に C。C：主の御名を Call/呼び求める、Confess/告白する。再度、ローマ人への手紙 10 章 9-10 節、

「口でイエスは主であると公に言い表わし (confess)、心で神がイエスを死者の中から復活させられたと信じるなら、あなたは救われるからです。」(ローマ 10:9-10)

「実に、人は心で信じて義とされ、口で公に言い表して救われるのです。」(ローマ 10:10)

そして最後に、ローマ人への手紙 10 章 13 節。ところで、私はお祝いしました。私はまだ 38 歳なのです。年を取ってはいますが、私はキリストにおいてまだ 38 歳です。それが私の霊的な誕生日、今年です。実は今月なのです。一拍手ー 主を褒め称えます。主を褒めたたえますそれはまさに、ローマ人への手紙 10 章 13 節の日でした。

『主の名を呼び求める者は誰でも救われる。』(ローマ 10:13)

それが私が「誰でも/すべて」になり、私が主の御名を呼び求めた日でした。38 年前のあの日に、私は救われたのです。38 歳に見えませんか？

もしよろしければ、オンラインメンバーからの 3 つの証を共有したいと思いますこれらは多くの人にとって非常に大きな励みです。この最初のものから始めたいと思います「こんにちは、JD 牧師とスタッフの皆さん。ウィスコンシン州オシュコシュから手紙を書いています。毎週の"聖書預言・アップデート"をととても楽しみにしています。私はあなたの動画を、水曜日の女性の聖書の学びグループや他の多くの人と共有しています。特に一人は、私の親愛なる友人であり、同僚であり、さらに重要なのがキリストにある私の姉妹で、彼女の名前はティファニーと言います。神は彼女に、美しい創造性を授けられました。彼女の最新作は、ここで紹介する「救いの ABC」のライトアップです。はい、白いのは雪です。(よね?) ウィスコンシン州ではよくあることです。ティファニーは、それぞれのライトを所定の場所に設置するのに何時間も費やしました。未信者のお母さんをクラフトに招いたりもしたそうで、お母さんは一日中、目の前にある ABC を読んで楽しんでいました。彼女の救いを祈ってください。はい、主よ。ティファニーは定期的にあなたの動画を見ている。宜しければ、お気軽にこの写真をシェアしてください。彼女に、私があなたにメールするのは伝えてありますので。たぶん、携挙の前に、直接あなたに会えるかもしれません。でもそうじゃないかもしれません。いずれにせよ、イエスを褒めたたえます。感謝します。ジェシカ・シュワルツミラーより。」

2 つ目は、「親愛なる JD 牧師、こんにちは。私はまずあなたに感謝を申し上げます。数ヶ月前、母が私をあなたに向けてくれて以来、私は再び主との距離を縮め、聖霊の働きを感じるようになりました。私はあなたの礼拝と預言アップデートをたくさん見てきました。その中には、何度も何度も見ているものもあります。そのおかげで、私の主イエス・キリストへの信仰と関係が日に日に強くなっていくのを感じています。私はできる限り「救いの ABC」を広めています。他のオンラインメンバーの方々がが思いつかれたアイデアを聞いて、私は ABC を人々に届けるための、いくつかの異なる方法を決めました。まず、このしおりをラミネート加工した表紙にしました。これを知り合いに送っています。それから思いついて言ったのが、「ママ、ABC をドアの下に貼り付けたりして、隣近所の人にあげたらどう？ それをするだけで誰が救われるのか分からないよ。」ママが住んでいるのは、100 戸の高齢者向けの建物です。彼女は今日、コミュニティルームにいくつか置いてきたこと、また兄に 1 つ、床屋さんに 1 つ渡したことを私に

報告して興奮していました。色々なご要望があると思いますが、もし聖霊が促されるなら、私のメールアドレスを気軽に教えてあげてください（どうなるのかわかりませんよ。画面上と、リンクが動画下にあります。）"救いの ABC"のしおりをリクエストされる方どなたにでもお送りします。神の祝福を！ジャネットより。」これが彼女のメールです。この最後の1つは、非常に感動的です。グロリア・タナーさんからです。「親愛なるファラグ牧師。私は数年前にあなたの預言アップデートを聞き始めました。正直なところ、"救いの ABC"が始まると、それ私が聞くのをやめるときでした。私はクリスチャンだから、聞く必要はないと思っていました。そしてある日、私は最後まで聞くことにし、他の人たちがABCを使って福音を伝えるユニークな方法を、あなたは共有されていました。私は、キリストのために他の人に手を差し伸べることにに関して、咎められました。息子のティムは、5年前の6月、オートバイの事故で天に召されました。その後すぐに、私は彼の名誉のため、任意に親切な行為をする用に、名刺を作成しました。"ティム・タナー 信仰による人生"という私が作ったサイトへ人々を導くためです。他の方々がABCでやっておられることを聞いてから、神様に促されて、名刺を変更をし追加しました。1つは、私が任意に親切な行為をする用のための名刺で、そしてもう1つは、神の導き通りにお渡しするのです。2種とも、裏には救いのABCを載せています。またティムのサイトに、救いのABCを説明しているあなたのウェブサイトへのリンクを追加しました。ティムは若い時に、キリストを受け入れたにもかかわらず、神のために生きていませんでした。しかし神は、ティムの死の約10ヶ月前に、神の約束をくださいました。ティムは、イエスにおける喜びと幸福を他の人にも知ってもらいたいという強い願望を持ったのです。ティムには、亡くなった当時、まだ1歳半と3歳だった2人の小さな子供がいます。上の子が父親について覚えているのは、父親と一緒に祈ったことです。ティムの追悼式で、ある女性が近寄ってきて、こう言いました。"あなたは、ティミー・タナーに会って、彼がイエスを愛していたことを分からなかったのですか？" 救いのABCを通して、ティムのイエスへの愛を伝えることができ、そしてそれが今の私をどのように彼を敬うために与えてくれたかそしてそれによって他の人にも、イエスについての救いの知識をもたらすことができると思うと、私はとても興奮しています。あ、ちなみに、今はいつも（あなたの動画を）最後まで聴いています。」（それは良いことですね。）

ご起立ください。賛美チームは上がってきてください。彼らが上がって来たら、祈りで締めくくります。もしかしたら今日この礼拝の来られている方やオンラインでご覧の方かもしれませんが、真実が明らかになり、このような言い方をお許しいただきたいのですが、間違いなくあなたを怖がらせたと思います。こんな風に言ってもよろしいですか？ 私は、御世辞を言って地獄に行かせるよりも、怖がらせてでも天国に導きたいのです。ちなみに私は、軟弱にさせ、水で流されてしまうようにする許可は、主から頂いていません。これは、何が来ようとしているのか、何が既にここで起こっているのかを見ている見張り番の警告です神は、警鐘を鳴らし、ラッパを吹き、人々に警告するよう私を召されたのです。そうすれば、誰の血の責任も私にはありません。私は警告を鳴らしたので、私に責任はありません。これが、何が起きているのか、何が来ようとしているのか、なのです。エゼキエルの預言によると、人々に警告しない見張り番は、彼の手への血の責任があります。もしそんな風に言えるのであれば、私の恐れていることは、もう終わります。ご忍耐に感謝します。お聞きください。私の恐れはこれです。天国のこちら側でさえも、間違いなく天国でも、この可能性がありますが、私が一番恐れているのは、誰かが私に近づいてきて、こう言われることです。「なぜ私に言ってくれなかったのですか？」「どうして私に話してくれなかったのですか？」「なぜ私に、何も言ってくれなかったのですか？」「あなたは私をそんなに愛していなかったの

ですか？ これを私に知らせようと気にかけてはくれなかったのですか？」言わば、それが私の霊的背筋を震えあがらせるのです。警告が鳴り響いています。主が来られます。主はもうまもなく、非常にまもなく来られます。祈りましょう。天の御父よ、あなたに心から感謝します。聖書預言を本当にありがとうございます。なぜならそれは、私たちが知る必要があるからです。そうすれば、私たちは顔を上げ、私たちの贖いが、今まで以上に近づいているのを知ります。主よ、オンラインで見ている人や、ここに来られている人で、あなたを呼び求めたことがない人のために祈りますあなたを信頼し、心で信じ口で告白しますように。"あなたが主であり、あなたが救い主です"と主よ、永遠の命のための人生で最も重要な決断を、敵が、遅らせることが出来ないよう祈ります。今日ここで、決断されることを祈ります。今日は救いの日です。そして、主よ、マラナタ。主イエスよ、早く来てください。イエスの御名によって祈ります。アーメン。

メッセージ by JD Farag 牧師カルバリーチャペルカネオへ

<http://www.calvarychapelkaneohe.com/>

Calvary Chapel Kaneohe 47-525 Kamehameha Hwy. Kaneohe, Hawaii

筆記 hukuinn7